

フィリピンでの支援活動紹介

八戸

公益財団法人修養団(SYD)は12日、八戸学院光星高(小野崎龍一校長)で出前講座を開いた。同校の1、2年生41人が、SYDが取り組んでいるフィリピンでの活動を学び、貧困の現状、安定した生活を過ごせるありがたさについて、理解を深めた。

講座では「貧困と共に生きる子どもたち」と題して、SYD理事



で講師の青木富造さんが、ごみ捨て場などで生計を立てている貧困世帯の暮らしぶりを説明。支援活動を紹介しながら「まずは身近なことに目を配り、優しくできる人になって」と呼び掛けた。

2年の久保千尋さんは「学校で勉強できることが、実はとても幸せであることに気付いた」と話していた。

(大澤諒)